

# 国分寺市にふるさとをつくる会

285号 令和7年12月1日発行

特定非営利活動法人  
国分寺市にふるさとをつくる会  
理事長 大野 政智  
〒185-0011 東京都国分寺市本多3-6-23  
TEL: 080-5074-0367 Fax: 042-321-4357  
E-mail: masatomoono@ra2.so-net.ne.jp

## 防災推進の街づくり仲間の会の活動について

防災推進の街づくり仲間の会 川崎 末利子

「防災推進の街づくり仲間の会」は、国分寺にふるさとをつくる会の関連団体で、災害時の防災を目指し、仲間とともに安心な街づくりをめざして活動しています。



主な活動は月一回の「井戸端会議」で井戸水の水質検査をして市の防災課に報告しています。井戸水の「ph」「亜鉛」「鉄」の3種類を、試薬を使って、災害時に生活用水として活用出来るかどうか調べます。災害後21日間生き延びる（避難時の水とトイレの問題）ために、政府はこの災害井戸の全国普及を目標にしています。会議では、新聞やテレビなどの情報にあわせて、参加いただいている国分寺市社会福祉協議会、地域包括支援センター、内藤・日吉地域連合防災会、日吉町町内会の皆さんと情報交換しています。

もう一つの活動は、年に一回開催する「立川防災館研修」です。地震や水害など災害の体験（VR）や（AED）の使い方の研修。毎年繰り返し体験することでいざという時に役立ちます。

その他の活動として、防災関連団体の「内藤・日吉地域連合防災会」の行事にスタッフとして協力しています。地域の防災訓練、学校関連の授業や行事の支援、市の防災フェスタ、国分寺まつりなどにも参加して色々な活動を支援しています。

以前、東京都からご家庭に配布されている「東京くらし防災」を参考にして、いつ起こるか分からぬ災害に備えていただけたらと思います。



## 11月 森の自然塾「森の素材でクリスマスリース作り」

富村 隆子

例年大人気のクリスマスリース作りです。

プログラム①は「木の実のお話」としてリースの主材料となるマツボックリとヒマラヤスギの実はどのようにできるのでしょうか？から始まります。春にマツの雄花と雌花が咲いて、一年半後の秋に球状にうろこ状の鱗片が集まり、その間に小さな種が実るまでをパワーポイントによる映像と、実物を示しながら説明しました。バラの花のように魅力的なヒマラヤスギの実も、2年以上を要して1センチほどの小さな雌花から大きな実になり、種を飛ばすまでを、映像と実物で確認しました。

教室を移動してお待ちかねのプログラム②リース製作です。集められた多数の木の実と常緑樹の小枝など材料の説明、作り方のコツ、安全な道具の扱い方などの説明の後は、スタッフは補助的な立場となり子供たちのオリジナリティを尊重して完成させてきました。

全員素晴らしい作品が出来上がりました。笑顔で発表しあって今月の森の自然塾が終了しました。



## 12月行事予定

- 1日(月) 防災推進の街づくり仲間の会  
井戸端会議 9:30 室内プール前
- 4日(木) 多摩に歩く会  
黒目川源流・柳窪  
9:00 JR 西国分寺駅南口噴水前
- 10日(水) 森の自然塾運営会議  
9:30 恋ヶ窪公民館
- 11日(木) ふるさとの会・合同幹部会議  
14:00 恋ヶ窪公民館
- 12日(金) ふるさとの自然と歴史を訪ねる会  
東京都埋蔵文化財センター～  
多摩中央公園・旧富澤家住宅  
9:30 多摩センター駅
- 17日(水) 立川防災館研修会  
12:30 西国分寺駅改札口内
- 20日(土) 防災推進の街づくり仲間の会  
14:00 恋ヶ窪公民館
- 21日(日) 森の自然塾 9:20 エックス山中央
- 26日(金) 会報配布準備  
13:30 恋ヶ窪公民館
- 26日(金) 多摩に歩く会会議(会報配布準備  
終了後) 14:15 恋ヶ窪公民館



## 都市緑化を考える会 「隅田公園と鶯屋重三郎巡り」

三田 晴美

隅田公園と言えば江戸時代から知られる桜の名所です。今年の隅田公園の桜の紅葉は見事で、イチョウやモミジも加わり美しい景色を満喫出来ました。隅田公園はもう一つの目的を持って作られました。関東大震災で東京市の被害は甚大でした。その時の火災に、公園緑地や広場が焼け止まりに機能した事から、三大公園と 52 の小公園が設置されました。三大公園の一つが隅田公園です。防災としての公園の役割を考える良い機会になりました。

昼食は老舗の並木藪そばです。少し並びましたが、回転が速いので思ったより早く店に入りました。

その後吉原に移動します。バスが小さく全員が乗れない可能性があったので、バス組と歩く組に分かれて見返り柳で合流しました。吉原大門は柱が残っている程度で、当時の面影は少し曲がった道くらいです。当時の吉原近辺が分かる浮世絵を見て頂き、想像して頂きました。参加者の皆様のご協力のお陰で気持ちの良い一日を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。



## 東京都「里山へ GO!」に協力しました！

白木 昭憲

東京都の親子自然体験作業・学習が 10 月 12 日(日)姿見の池緑地保全地域で開催されました。国分寺市にふるさとをつくる会「森の自然塾」指導者・スタッフが、植物観察・森の材料を使ったプログラムを担当しました。「里山へ GO!」は『東京都の緑の取組』推進のための“生物多様性”保全・確保を目指す、都民対象のプログラムです。

プログラムは、参加者全員対象の「①剪定ハサミを使っての下草刈り」および「②植物観察」、参加者の選択による「③大人中心の樹木伐採作業」または「④親子中心のドングリ・枝等を使ったクラフトづくり」です。

終了後のアンケートでは、多くの感謝の言葉や感想を頂きました。その内ふるさとをつくる会には、「①国分寺にある豊かな植生を知ることができた」「②クラフトづくりでは、いろいろな素材を用意して頂いてとても楽しかった」「③プログラムを通じ、子ども達が想像力を発揮するのを見ていて楽しい」等々。



## 市民活動フェスティバルに参加しました

大野 政智

10 月 4 日、国分寺駅北口の cocobunji プラザで「第 19 回 市民活動フェスティバル」が開催されました。国分寺市の市民活動センターに登録している市民活動団体が一同に会して、その活動を紹介するイベントです。今年度は 17 団体が参加しました。国分寺市にふるさとをつくる会は、「知ってる？ 郷土こくぶんじ」を共通テーマに、関連する、美しい用水の会、ミズモリ団、まちづくりサポート国分寺と共に、セミナールームでブースを並べて、活動を紹介しました。



基幹事業である「森の自然塾」を中心に紹介しました。テーブルに森の自然塾で製作したクリスマスリースなどのクラフトサンプルも並べました。小さいお子さんの家族連れも多く、熱心に説明を聞いてくれました。中には、活動に興味を示し、募集チラシを持って帰った方もありました。その後の成果には結びついていませんが、ふるさとの会の存在や森の自然塾の活動などを多くの市民に知っていただく事が大切だと考えます。これからも色々な場で発信してまいりたいと思っています。

